

日本共産党藤沢市議会議員団は、平成27年度藤沢市一般会計予算及び北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算ほか5特別会計予算案に反対し、その他の会派は全予算案に賛成しました。

予算に対する 各会派の要望・意見

福祉拠点の整備 相談等の機能充実を かわせみクラブ 7人

①市職員が元気にやりがいを持って仕事ができるようワーク・ライフ・バランスを推進すること。
②市民病院の看護部門については、長く働き続けられる職場環境の構築を。
③公共施設再整備に当たっては、地域住民の意見を十分反映させること。
④いつでも気軽に相談できる地域包括ケアシステムの充実を着実に進めること。
⑤障がい者団体等と十分な協議を行い、相談を初めとした支援、交流の場等の機能が充実し

た福祉拠点の整備を。⑥ひきこもりや精神障がいの方に対して、アウトリーチ型の相談支援を進めること。⑦行政が率先して障がい者雇用を推進すること。⑧生活困窮の相談や支援には、コミュニティソーシャルワーカーを配置し活用を。⑨困難を抱えた若者には、一人一人に応じた細やかな自立支援を。⑩障害者差別解消法施行に備え、差別や合理的配慮について啓発や周知を。⑪空き家対策及び利活用の検討を進めること。⑫汚れが付着したプラスチックは、収集・中間処理にコストがかかるため可燃ごみとしての処理を検討すること。

津波避難ビルの拡充 積極的な推進を 藤沢市公明党 6人

①老朽化した公共施設の再整備や待機児対策などに対応するための歳入の確保に努めること。②財政運営を透明化し、行財政の信頼感を高める公会計改革にスピーディに取り組むこと。③プレミアム商品券事業は工夫次第で予想以上の効果を生むため十分検討を行うこと。
④防災ラジオは早期に購入できるような周知と販売体制の構築を図り、危険が想定される区域の方の優先申し込みも検討を。
⑤津波避難ビルの拡充に向け既設のマンション等にも積極的な働きかけを。
⑥市立小中学校の非構造部材の耐震化は早急に完

了を。⑦藤沢市地域包括ケアシステムについて十分に周知するとともに市民が行政への強い信頼感・安心感を抱くことのできる体制づくりを。⑧認知症初期集中支援チームを平成三十年度までに配置し訪問診療を充実させ地域で安心して暮らせる相談体制づくりを。⑨障がい者雇用は、市自体が推進し、企業の雇用促進をリードすること。⑩胃がんリスク検診は受診率向上と対象年齢の拡大を。
⑪健康増進ポイントは、介護予防の観点から有効な施策であり市民の参加も期待できるため実施に向けた取り組みを。⑫放課後児童クラブについては、安全安心な環境整備を図り質の高い運営体制を。⑬孫養育支援金は全

ての対象者に周知すること。

中小企業支援を行い 地域経済の活性化を 自民クラブ藤沢 5人

①地域経済の活性化に向けて、中小零細企業に対する販路拡大等の支援策を具現化すること。②働く意思のある方が生きがいを持って働くことができるよう、市内で連携した雇用促進の取り組みを。
③シティブロモーションの推進は、地域を有名にするだけでなく、地域の人々が幸せになるという効果も追求すること。④平成二十七年二月に実施した津波避難訓練の検証結果等を津波避難計画に反映すること。⑤自治会・町内会の意見を聞き、利用率が低い自治会館・町内会館を地域の縁側事

業に活用すべき。⑥不法投棄根絶に向けて、集合住宅等にもゴミカメラや鳥居の貸し出しを。⑦民生委員の研修内容等を工夫し、やりがいを持って活動できる取り組みを。⑧市民マラソン等の事業に健康づくりを結びつけた施策を積極的に展開すること。⑨シルバー人材センターの会員のニーズに合わせた事業目的の拡大と就業機会の提供を。⑩六次産業化の推進は、生産者や事業者を結ぶ事業コーディネートを行い、本市らしいモデルの構築に努めること。⑪北部地区において、新たな観光スポットの創出やロケ誘致活動の取り組みを。⑫藤沢駅周辺地区などの拠点整備事業等は、町の活性化を図る事業と

ロボット産業の振興 継続的な取り組みを 自由松風会 6人

トナーシップにより、地域特性を生かしたまちづくりを。③地域の縁側事業は住民同士の支え合いを具現化するものであるため、モデルケースの拡充を。④夜間の災害避難に備え、蓄光式の路面標示シートで避難目標を表示する取り組みを速やかに進めること。⑤市民憲章啓発事業とシティブロモーション事業の連携について再考を。⑥藤沢型地域包括ケアシステムは、既存事業の整理、集約を行い、より効果的な事業に再編を。⑦小児医療費助成は、制度継続のため、長期的な視点に立ち、所得制限設置を含めた総合的な判断を。⑧保育所の入所について、公平性を

担保するため入所選考基準の基礎点数見直しの検討を。⑨ロボットスーツ着用訓練費助成や訪問歯科診療をさらに進めるため、特区制度活用を。⑩官民学による各種健康づくりモデル事業や市内企業と連携し、子どもから大人まで全ての健康増進を図る取り組みを。⑪シティブロモーションにも寄与する六次産業化に関し、国、神奈川県、農業者や企業、大学との連携強化を。⑫辻堂駅周辺の渋滞解消及び歩行者、自転車等の安全確保のため、(仮称)南北線の設置に向けた地域課題の解決を。⑬防火、防災に対する意識啓発を図り、消防施策等の適切な広報、周知を。

等。

市職員の持ち家に 対する手当見直しを 改進黨所属クラブ 2人

①市職員の持ち家に対する住居手当等を積極的に見直すこと。②早期に具体的な受動喫煙対策を。③国民健康保険料は一人一万円の引き下げを。④後期高齢者医療制度を速やかに撤廃し、老人保健制度に戻すべき。⑤市民病院は、地域の基幹病院として質の高い医療を提供し信頼される病院を目指すこと。⑥子ども医療費無料化を中学三年まで引き上げること。⑦高齢者の社会参加、健康増進に対する支援として無料バス券の創設を。⑧ごみ減量化を進めつつ、ごみ処理有料化の廃止に向け、まず、ごみ袋の値段を半額にすること。

①浸水被害に関する現地調査や基礎調査を継続実施し、風水害対策の強化を図る取り組みを。②火山災害に対する取り組みを強化すべき。③需要の高い藤沢駅前駐輪場については、地下、地上、路上のあらゆる可能性を検討し、駅前での増設を図る。④商店街への支援として、今後とも防犯カメラ設置に係る負担軽減の取り組みを。⑤辻堂駅北口周辺の渋滞

駅前駐輪場の整備 今後も増設の検討を さつき会 3人

①浸水被害に関する現地調査や基礎調査を継続実施し、風水害対策の強化を図る取り組みを。②火山災害に対する取り組みを強化すべき。③需要の高い藤沢駅前駐輪場については、地下、地上、路上のあらゆる可能性を検討し、駅前での増設を図る。④商店街への支援として、今後とも防犯カメラ設置に係る負担軽減の取り組みを。⑤辻堂駅北口周辺の渋滞

等。

等。

新産業の森を中心に 積極的な企業誘致を ふじさわ自民党 1人

①新庁舎にふさわしい市民サービスの向上に努めること。②辻堂市民センターの建てかえは、周辺に津波避難場所が不足していることを踏まえ防

れなカフェ等で居場所、子育て働き場づくり。市民センターがCSW(※)と連携バックアップ。市庁舎はスリム化し公民館は住民主導でコミュニティセンターへ。職員は志高く人をつなぐ要となり、誰もがその人らしく生き尊厳をもって最期を迎えられる未来デザインを。

コミュニケーション再生へ 未来デザインを アクティブ藤沢 1人

人口急減時代にハコモノふやすのはバツ。地域コミュニティ「力」再生が鍵。空き家活用で、多世代・多業種交流の介護事業所、地域の縁側、おしゃ

り。

り。

実情に合った地域包括 ケアシステム推進を 神奈川ネットワーク 運動・藤沢 1人

①武田薬品工業湘南研究所の廃液漏出事故に鑑み、市民と専門家を含めた安全協議会の設置を。②藤沢型地域包括ケアシステムの推進に当たっては、地域の実情に合ったサービスの提供を。③認可外

保育園等の利用者負担が、認可保育園と同じとなる制度の創設を。④子宮頸がんワクチン予防接種に対し、横浜市のような医療費支援等を行うべき。⑤若者の自立支援については、一人一人の状況に合わせた継続的な支援を。

以上、各会派の要旨 を掲載

を掲載

(※) CSW…コミュニティソーシャルワーカーのこと。